

地域計画

策定年月日	令和7年2月19日
更新年月日	()
目標年度	令和14年度
市町村名 (市町村コード)	近江八幡市 (252042)
地域名 (地域内農業集落名)	安土町東老蘇 (東老蘇)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	69.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	69.9 ha
② 田の面積	68.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.9 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	4.1 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区の耕作面積の92%を営農組合が管理している。個人経営が3軒。営農に入りながら会社を立ち上げ、麦後田でWCS、酒米に取り組む青年経営者が一人いる。荒廃している農用地はない。法人組合員の高齢化も進み(出役の中心は65才～70才前半)、出役が役員などに限られ、若い世代の作業出役が課題。年5回～6回行う畦や法面の草刈りが重労働で困難になってきている。法人は事務所、倉庫、乾燥・糶摺り施設を持ち、大型機械(トラクター、田植機、コンバイン)を使用している。個人経営はそれぞれが機械を有している。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

営農組合では現在、水稻・麦・大豆を主要作物としているが、将来もその方向。水稻は環境こだわり米を基本に、ブロックローテーションで作物の団地化を行い生産性を高める。オペレーターを育て、機械を長期に使えるようにする。作業の効率化を推進するために、農業の最新技術等を情報収集し、必要な機材を計画的に導入する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
個人経営農家は後継者がおらず、営農継続が困難になれば営農組合もしくは青年経営者に委託する方向。青年経営者も将来的に一定の面積を持ちたい意向を持っている。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	98.9	%	将来の目標とする集積率
			98.9 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
法人未加入地主への法人参画の勧誘。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現状維持。
(3)基盤整備事業への取組
整備済み。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
組合員家族の若い世代の参画をすすめる。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
特になし。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鳥獣被害対策の柵の点検・補修。②環境こだわり農業の取り組みを継続する。
③GPS付田植え機の導入、ドローンの導入。⑦エコ村と協力して農地の保全・管理をすすめる。
⑧法人事務所と機械倉庫、乾燥・糶摺り施設の維持・管理。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 14 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	サン・燦ファーム	水稻・麦・大豆	63.6 ha	ha	水稻・麦・大豆	63.6 ha	ha		
利用者	井上梅次	水稻	0.9 ha	ha	水稻	0.9 ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	2経営体		64.6 ha	0.0 ha		64.6 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	(株)ファームサポーター	ドローンでの薬剤、肥料散布	水稻、麦、大豆
2	(株)ファームサポーター	WCS収穫作業	水稻
3	(株)ファームサポーター	田植え	水稻
4	山本寿也	稲刈り作業	水稻

6 目標地図(別添のとおり)